



第85号

町長のしごと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【高齢者の方々の長寿は“まち”の宝・・・】

町長室から見える街路灯の明かりの点灯が早く、夜の時間が長くなり、季節は秋から冬へと時を刻んでおります。

全国・全道の新型コロナウイルス感染症の第七波の急速な拡大を受け、町内でも感染者が七月六人でしたが、八月七十三人、九月三十二人と拡大しました。八月下旬から新規感染者数が徐々に減少し、九月十日以来、新規の感染者は「ゼロ」の状態が続いておりますが、十月八日からの三連休に少し感染者が発生しております。

九月十七日(土)に、総合体育館において令和四年度の敬老会が開催され、各町内会から高齢者の方々の参加をいただき、米寿を迎えられた方々(三十七名)をお祝いすることができました。当日は、アトラクションとして、歌手の寺本圭佑さん、民謡の寺島絵里佳さん、演歌の中村時子さんをゲスト

トに迎え、楽しい時間を過ごすことができました。寺本さんは、好評ヒット中の「望郷本線」や新曲の「折鶴夜曲」などを熱唱し、久々に高齢者の方々の笑顔が会場いっぱいに広がっております。

敬老会終了後、めでたく百歳(百寿)を迎えた、新山セツさんに内閣総理大臣からの表彰状と記念品並びに町からの記念品を伝達させていただきました。これからもお元気で過ごされることを願っております。

高齢者の方々は、まちの礎を築いてくれた方々で、「まち」の宝であります。本当におめでとうございます。

九月二十一日から三十日までの期間、秋の交通安全週間で町内会や事業所の方々のご協力をいただき、街頭啓発を実施しております。ご協力いただいた方々に感謝を申し上げます。

また、二十一日(水)は、交通安全祈願祭と交通安全町民大会が行われております。

九月二十六日(月)に、延期されていた福島幼稚園の第六十八回運動会が晴天の下で開催され、かけっこやダンスなど子どもたちの元気な声が、グラウンドいっぱいに広がり、家族の方々はもちろん、私も来賓としてお招きいただき、子どもたちの笑顔から元気をいただきました。

いつも町長室の机に飾っている絵葉書に「笑顔がいちばん 笑って、笑って」とあり、それを体感した一日でした。

十月三日(月)に、全町内会を対象にした防災訓練が実施されております。

当日は、総合体育館において、避難所設営訓練や災害備蓄品等の展示が行われ、後半では、大雨・地震・津波等の災害に係る防災講話が行われ、テレビでおなじみの渡島総合振興局の防災士・気象予報士の國田さんに貴重なお話をいただきました。

十月四日(火)に、現在建設中の「福島町青少年交流センター」の上棟式が行われ、工事関係者をはじめ多くの方々の参加をいただき、工事期間中の安全祈願を行うことができました。また、当日は、あいにくの雨で予定が変更となりましたが、小学校などで餅まきが行われました。餅まきの風景も最近の新築の上棟式では見なくなりました。自分が小さい頃は、町内会で当たり前のように行っていた光景がなくなり、寂しい気がいたします。

古き良き伝統や歴史を伝えるのも、今を生きる私たちの役目としてあるような気がいたします。新しきもの、変えるべきもの、変化・改革をしながら、変わらぬ歴史的なものや先人たちが脈々とつないできたものがあります。このことに思いを馳せながら、今、この瞬間を大切に生きたいものです。